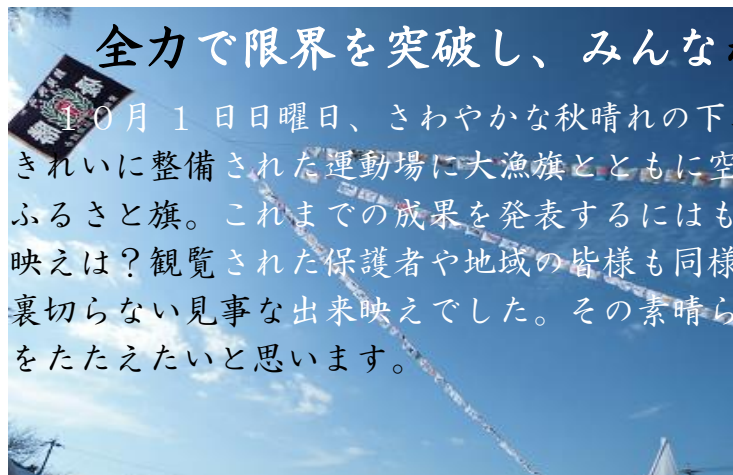


全力で限界を突破し、みんなが主役になった運動会



10月1日曜日、さわやかな秋晴れの下、南郷小学校の運動会が実施されました。きれいに整備された運動場に大漁旗とともに空にたなびく子どもたち一人一人が作ったふるさと旗。これまでの成果を発表するにはもってこいの舞台となりました。その出来映えは？観覧された保護者や地域の皆様も同様に感じられたことと思いますが、期待を裏切らない見事な出来映えでした。その素晴らしさを振り返り、子どもたちのがんばりをたたえたいと思います。



午前6時前、実施を知らせる打ち上げ花火をセット！ここから運動会が始まりました。

団長に聞く

運動会成功の立役者はもちろん団長を中心とした6年生、そして5年生の活躍抜きに語ることはできません。競技、演技、応援はもちろん、役員として与えられた係に取り組み、下級生のお手本となる行動を見せてくれました。それぞれ苦勞もあったと思います。代表して各団長に話を聞いてみました。

みんながなかなか言うことを聞いてくれず、リーダーも助けてくれなくて悩んだこともあったけど、先生や仲間と相談してから団がまとまり始めました。応援賞が取りたかったけど競技の部で優勝旗をとれてよかったです。
白団団長 ○○○○さん



みんなにうまく指示ができません、リーダーも何をしてもよいかわからない状態です。最後の1週間でみんなの心が一つになりました。W優勝を狙っていたけど、ほしかった応援賞を取れたのでうれしかったです。
赤団団長 ○○○○さん



たくさんの宝物を見つけました

運動会という一連の教育活動を通して、子どもたちのそして南郷小のすばらしさをたくさん見つけることができました。そのいくつかを紹介します。

宝物その1 絆

赤白に分かれて勝敗を競い合った子どもたち。開会式前に全員が集合すると、運動場に赤白の大きな輪ができ、運動会本番に向けて健闘を誓い、心をつなぐしようとしました。これは、事前に予定されていたものでも教師が指導していたことでもありません。6年生が中心になって自然発生的にしたことでした。子どもたちの心の絆をつなぐ感動的な場面でした。



開始前各団が整列列が乱れることなく、ざわつきもなく、静寂の中で待つことができました

裏面もご覧ください

宝物その2

豊かな心

競争に勝敗はつきものです。一生懸命にやったのに失敗することもあります。また、走ることや踊ることなどの運動を得意としない子もいます。しかし、練習の時からそれを責めたり非難したりする言動が見られませんでした。逆に、励まし、応援する光景は何度も目にしました。子どもたちの心が育っている証拠だと思います。このような場面は、運動会の場だけに限らないことを付け加えておきます。



宝物その3

キラリと光る才能と個性

子どもたちの競技や演技に真剣に打ち込む姿は見ている者に感動を与えます。リレーで前を行く走者を抜き去る走りや手に汗握る接戦には会場からも歓声が上がっていました。しかし、それ以外にも見所はたくさんあったと思います。表現でキレのよい動きを見せる子、原稿なしでもしっかり発表できる子、透き通るようなきれいな声で校歌を歌う子、などなど、たくさんの才能を発見した1日でした。



開会式児童代表の言葉
 たくさんの人の前で朝礼台
 に立っての発表は緊張したこ
 とと思います。立派な発表が
 できました。一年生の登壇は
 会場を和ませてくれます。



三年生表現「竹踊り」
 ♪おいらの船は三〇〇トン
 南郷ならではの選曲です。
 「エンヤコラセ〜」のかけ声
 も素晴らしかったです。

宝物その4

頼りになるPTA

PTA役員の皆様には準備から片付けまで献身的に支えていただきました。あれだけの会場設営は、学校の職員・児童の手だけでできるものではありません。特に運営面では、感謝しきれないほどのサポートをいただきました。



感謝
 感謝

子どもたちが安全にそして練習の成果が発揮できるようにと会場整理をしたり、校外での駐車場を整理したりと、子どもが主役の運動会を演出していただきました。我が子の出番を十分に見ることができなかった方もいらっしゃると思います。本当に頭が下がる思いです。また、懸念されていた路上駐車につきましても保護者の皆様の協力のおかげで、競技中に注意喚起の放送を入れることなく運営することができました。(何台か路上駐車等があったと聞いていますが、きっと校外から来られた不案内の方たちだったのでしょう)



高学年児童による「南小 ソーラン」

大漁旗でつくられた法被に南郷の誇りを背負い、一心不乱に踊る。どの子も表情は真剣で自信に満ちあふれていました。

さいごに

今回の運動会を通して強く感じたのは、子どもたちにふるさと「南郷」を愛する心が育っていること、そして地域の方々が学校や子どもたちを温かい目で見守っていただいているということでした。子どもたちの踊りに取り組む姿や校歌を歌う姿を見れば一目瞭然でしょう。また、多くの来賓の方々が最後まで残っていただいて声援と拍手を送ってくださいました。

南郷万歳！

裏面もご覧ください